

なまめり



病院理念

人にやさしく 信頼される病院

基本方針

私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供します。
私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。
私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院
羽咋郡市広域圏事務組合

は く い
公立羽咋病院

〒925-8502 石川県羽咋市の場町松崎24番地
TEL(0767)22-1220 FAX(0767)22-5598
<http://www.hakuihp.jp/>

透析療法について

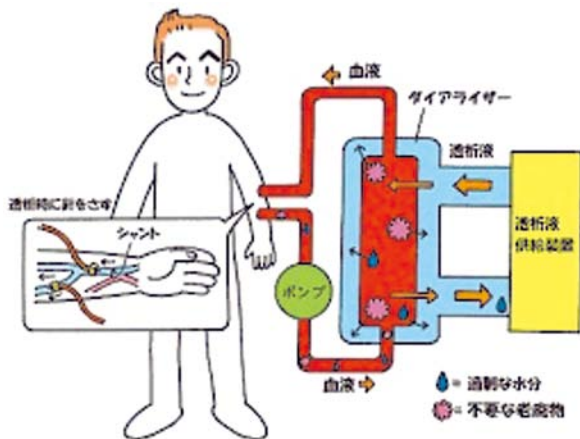
治療や管理をおこなっても腎機能の低下が進行して末期腎不全の状態になり、自分の腎臓で生命を保てなくなると、腎臓の働きを補うために透析療法（血液透析、腹膜透析）、腎移植といった腎代替療法が必要となります。今回は透析療法についてお話をさせていただきます。



■血液透析とは

血液透析は、血液を体外に取り出しダイアライザーと呼ばれる透析器（人工膜）を通すことによって、血液中の老廃物や余分な水分を取り除き血液を浄化する治療です。日本では血液透析を選ぶ患者が圧倒的に多く（2012年末の調査で全透析患者の96.9%）、末期腎不全の治療法として主流となっています。

一般的な血液透析の場合、1週間に2～3回程度、透析を行う施設に通い3～4時間以上をかけて血液を浄化します。短時間に大量の血液を取り出す必要があり、普通の血管ではこれだけの血液流量を確保できないため、一般的には利き腕の反対の腕でなるべく前腕の手首に近い部位、または親指の付け根に血液の出入り口となるシャントを作成します。シャントは、手術によって静脈と動脈をつなぎ合わせて太い静脈にしたものです。シャント作成の手術は局所麻酔でおこなわれ、約1～2時間程度です。

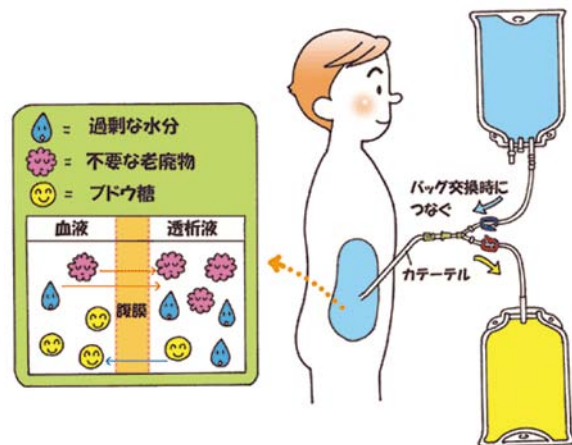


■腹膜透析とは

腹腔の内壁や臓器（胃、腸、肝臓など）の表面は腹膜で覆われています。この腹膜にはたくさんの毛細血管があり、この腹膜をダイアライザーの代わりにして透析を行うのが腹膜透析です。

腹腔にカテーテルを留置しておき、このカテーテルから透析液を注入して一定時間貯留すると腹膜の毛細血管から老廃物が透析液にしみだします。老廃物の染み出した透析液をカテーテルから廃液します。腹膜透析の特長は血液透析と違い在宅治療で、通院は月1～2回程度、自宅や職場、学校でも施行可能で、生活スタイルにあわせた治療がおこなえます。

腹膜透析は透析時間の拘束がないため活動の自由がありますが、自身での手技獲得や7～8年で腹膜の機能低下により血液透析に移行しなければならない等の制約があり、3%程度の普及に留まっています。また、透析開始のタイミングを逸すると、症状の出現のみならず生命予後にも影響するため、主治医の判断に従い適切な時期での透析開始が必要です。



内科 医師 政岡 陽裕

退任のご挨拶

昭和64年1月1日より、羽咋病院外科に勤務して、29年になろうとしております。外科医として、一番充実した時間を過ごさせていただきました。その間、のべ4,000名ほどの患者さんの手術に携わってまいりました。病棟、外来、手術室のスタッフ、その他病院職員の皆様のお陰と改めてお礼申し上げます。最後になりますが、患者さん、その家族の皆様のご健康を願って退職します。大変お世話になりました。

副院長・外科医長 坂田 則昭



新任のご挨拶

O型、おうし座、趣味はスポーツでしたが、現在はスポーツの指導に興味があります。

平成29年10月より着任いたしました。患者様に安心、安全、安泰の外科治療を提供できますよう努めさせていただきます。

どうか、よろしく願いいたします。

副院長・外科医長 中野 泰治

中能登中学校

体験
職種 薬剤師



今年もわくワーク体験に中学生が参加してくれました。薬剤科では、初めに内服、外用、注射の種類、効果や形態を説明しました。内服の調剤について、錠剤分包機から出てくる錠剤やカプセルが確実に分包されているかを見てもらいました。また散剤のはかり方、監査までの流れを説明しました。次に注射の払い出し業務を説明し、医師の注射オーダを患者ごとに払い出しを行う作業の体験、注射の混注等を見学してもらいました。また薬剤師がおこなっている入院患者への指導業務についての内容も説明しました。緊張が解けリラックスした頃には、体験終了時間が来てしまったという感じでは、無いでしょうか。わくワーク体験を通して一人でも多く薬剤師を目指していただければと思います。

薬剤科 薬局長 橋本 彰夫

職 場

体 験

邑知中学校

体験
職種 看護師

手術室では、まず私たち手術室看護師が普段どのような業務を行っているかを説明しました。生徒さんは、実際に手術時の手洗いをを行い、術衣や手袋をつけてもらったり、手術に使用する器械を触ったりし、とても興味深そうにしていました。

私は、今回初めて中学生の指導を経験しました。普段医療現場に関わることの少ない生徒さんにどのように物事を伝えていけばいいか不安もありましたが、最後に「わかりやすかった」と言ってもらえて安心しました。この経験が進路選択の参考になっていただければ嬉しく思います。

中央材料室・手術室 看護師 坂本 和也



羽咋高校

体験職種 医師

インターンシップ職場体験として、羽咋高校から2名の生徒が当内視鏡室を訪れてくれました。2人には本物の内視鏡や周辺機器などに触れてもらいつつ、実際の検査では食道や胃の中も見てもらい、内視鏡医として普段どのようなことを考えて検査や治療にあたっているか、といったお話をさせていただきました。短時間でどこまで期待に応えられたかはわかりませんが、自分も初心を思い出す良い契機になりました。いつか医療者としてまた出会えることを期待したいと思います。ご協力いただいた患者の皆さんに感謝いたします。

内科 医長
西野 隆平



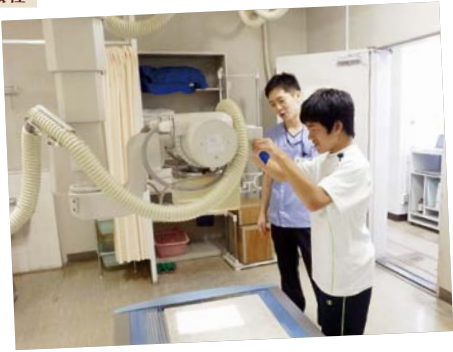
体験職種 看護師

今年も羽咋病院では、中学生・高校生を対象とした職場体験“わくワーク職場体験インターンシップ”の受け入れをしました。4階病棟では患者さんに協力して頂き、バイタル測定や足浴、車椅子移送の実施、そくさいサロンの参加をしました。実際に患者さんと触れ合うことで自然と会話が弾み、楽しそうに取り組んでいました。学生さんからは「看護師の仕事は大変そうだけど、やりがいのある仕事だと思った。」「患者さんから、ありがとうと言われて嬉しかった。」という言葉が聞かれました。今回の職場体験を通して思ったことや感じたことを、将来の進路選択に結び付けて貰えたら幸いに思います。

4階病棟 主任看護師 山本 麻美

羽咋中学校

体験職種 放射線技師



今年も多くの生徒の皆さんが職場体験に来てくれました。最初は、普段なじみの無い“放射線”に戸惑っているようでしたが、説明を聞き、機器に触れ、実際の検査を見学するうちに少しずつ笑顔が見られました。生徒さんの真剣な表情を目の当たりにし、我々スタッフも初心に戻り仕事を見直す良い機会となりました。仕事の内容や装置の説明、仕事の大変さや楽しさ、やりがいなど、短い時間の中でしたが少しでも伝わり、興味を持ってくれれば幸いです。

放射線科 主任放射線技師 皆見 武

体験職種 理学療法士

リハビリテーション科では、理学療法、作業療法、言語聴覚療法、通所リハビリ、訪問リハビリの体験をしてもらいました。最初は生徒さんたちも緊張した面持ちでしたが、体験していくなか次第に笑顔で取り組んでいました。

通所リハビリでは高齢の利用者の方たちと一緒にレクリエーションに参加してもらいましたが、普段あまり交流することのない高齢者と笑顔で会話しながら上手に接していて、利用者の方たちも楽しい時間を過ごすことができた喜んでいました。今回の体験を通して、将来の職業を選択する時の参考になれば幸いです。

リハビリテーション科

主任理学療法士

桶元 孝美

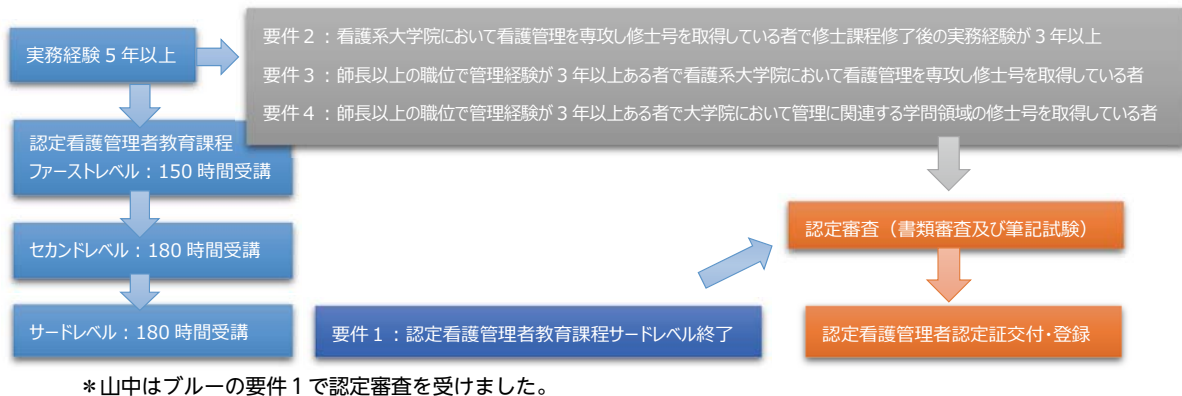


認定看護師の資格を取得しました

■認定看護管理者■

日本看護協会認定看護管理者認定審査に合格し、管理者として優れた資質を持ち、創造的に組織を発展させることができる能力を有すると認められた者をいいます。

■認定看護管理者になるには



■認定看護管理者は何人いるのか

全国に 3,328 人、石川県 42 人、能登地区 6 人です。

■認定看護管理者の役割

- ・保健・医療・福祉の政策等に関する知識や組織管理に必要な理論、経営的な視点を用いて自身の管理する組織を分析し、サービスの質を向上させるための方策を検討し実践します。
- ・看護師が知識と技術を身につけ、看護の質の高いサービスを効率よく提供できるように、教育体制を整え人材育成を推進します。
- ・安全な医療・看護を提供するための教育や体制の構築を行い、組織として安全管理を推進します。



岡部

山中

認定看護管理者 (総看護師長) 山中 由貴子

■緩和ケア認定看護師■

9月から緩和ケア認定看護師として活動を開始しました。

緩和ケアは、従来、最期のケアと考えられていました。しかし、現在は、病を抱える患者さんやその家族一人一人の身体や心などのさまざまなつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるよう支えていくケアであり、診断期から並行して行われることが推奨されています。

そして、緩和ケア認定看護師とは、緩和ケア分野において水準の高い看護を実践できると認められた看護師であり、看護師として5年以上の実践経験をもち日本看護協会が定める615時間以上の認定教育を修め、認定看護師審査に合格することで取得できる資格です。全国に2,211人、石川県では24人、能登地区においては2人しかいません。

当病院での活動として、通院、入院、在宅のすべての場面で多くの問題を抱えた患者さんやご家族の苦痛の予防と軽減を図り、生活の質を向上させるためにサポートすることを心がけていきたいと考えています。在宅では地域の医療や介護支援に携わる方々と、入院・通院中は各部署の看護師と協力しながら、からだや気持ちのつらさに対して少しでも安楽に生活できるよう、「その人らしさ」を大切にしてお手伝いできればと思っています。お困りのことがありましたら、いつでもご相談ください。

緩和ケア認定看護師 岡部 明代

第2回 通所リハビリテーション

シリーズ在宅支援



通所リハビリテーション（以下リハビリ）とは、通所系サービスの一つで、病院などの施設に通い、自分らしい日常生活を送ることを目指していくリハビリのことです。

在宅生活がより自立したものになるよう目標を定め、ケアマネジャーなど多くの方々と連携しながら支援しています。また、当院を退院した方が在宅生活に慣れ、安心して生活していけるように支援しています。

当院では、午前中に運動や運動の指導を、午後からは体操やレクリエーションをおこなっています。運動は、一日1km以上を目安に歩くなど筋力・持久力向上が主になっています。退院時には自身での寝起きが困難であった方が、通所リハビリを利用することで、杖や歩行器で歩けるようになった事例がありました。

皆さんも通所リハビリを利用し、元気に自分らしい在宅生活を長く続けていきましょう。

リハビリテーション科 作業療法士 岩島 寛

やすらぎコンサート

平成29年9月28日(休)ミルフィーユのみなさんが合唱に、10月5日(休)F&M(藤田先生・松沼先生)と加藤理良先生が弦楽器演奏に来てくださいました。



とてもすてきな歌声、そして演奏に癒やされ、こころ安らぐひとときを過ごすことができました。

ありがとうございます

- ♥ なぎさ表紙題字・絵手紙 辻口 敦子 様
- ♥ 写真 羽咋写真協会の皆様
- ♥ 絵画 羽咋美術協会の皆様
- ♥ 書字 羽咋市書道協会の皆様
- ♥ 俳句 宝達志水町若草会の皆様
- ♥ 園児の絵 余喜保育所・千里浜保育所
- ♥ ご寄付 木村義男様・祐美子様
(羽咋市深江町)



いきいき健康づくり教室 予定

♪どなたでも参加できます♪

コレステロール・あぶらで血がドロドロ

開催予定日: 12/6(水)

第1 水曜日 15:00~

場所: 3階病棟 食堂談話室

内科医師、管理栄養士、理学療法士

高血圧・塩で血管がパンパン

開催予定日: 11/20(月)、12/18(月)、1/15(月)

月1回不定 月曜日 15:00~

場所: 3階病棟 食堂談話室

内科医師、管理栄養士

ねたきりにはならない!

開催予定日: 11/22(水)、12/27(水)、1/24(水)

第4 水曜日 15:00~

場所: 2階病棟 食堂談話室

整形外科医師、作業療法士、管理栄養士